

新入生 諸君へ

▶ 読書は趣味ではない ◀

入学おめでとう、月並みですがこれは区切り目と受けとめて、やはりひとつの出発です。図書館や書物はそれを使う人の方から語りかけない限り、そっけない、よそよそしい物であるかも知れません。さあこれからの4年間は自分の方法、考え方を築くための貴重な時間です。そしてとても短かい！青春な心という手あかだらけの様な気がしないでもない言葉ですが、やはり青春はやたらに捨ててはいけません。それは求め続ける心に外ならないのですから、年令を超えたものに違いありません。そのある部分をうめることができるのは、人との出会いであり、本との出会いだと言えるでしょう。しかも本には沢山の人の生きざまが込められています。ひとりの人が出会うことのできる経験はほんのわずかでしかありません。出会うことのできる人もほんのわずかでしかありません。だから本を読むと言うことは趣味などではなくて必要な食事なのです。(佐野真)

Reference room

— 参考室ご案内 —

◎ 百科事典・専門事典・年表・地図・書誌・索引等を備えつけて、皆さんの利用をお待ちしています。

▶ 必要な資料・情報を探しているとき...

▶ 資料が図書館にないとき...

▶ 書誌・目録類の使い方など...

お気軽にご相談下さい。下を伺って仕事に熱中??している時でも、遠慮なく声をかけて下さい。

◎ 自由に利用できるカード形式で作成中の索引が3種あります。

(1) 総合誌記事索引 中央公論・世界・文芸春秋などの主な記事をキーワードからひけます。執筆者名からも。去年はホヰポウリョウドがよく利用されました。

(2) 仏文関係文献索引(作家別)

種々の雑誌に書かれているフランス文学者に関する論文の索引です。例えば Gide, André をひ

けば、ジッドについて書かれた論文がどの雑誌の何号に載っているかわかります。『フランス文学研究文献要覧』（全5冊）と重なる部分がありますが、比較的新しいところまでカバーしていますし、これからも継続していきます。

(3) 院内刊行物着者名索引 学内発行の紀要類—文学部研究年報などにどの教員がどのような論文を書いているか—目瞭然！
⇒参考室の道具（図書）と人（貴方自身と図書館員）とを最大限活用されるよう期待しています。

●『本学教員著作目録（単行書）昭和56年』ができました。

御希望の方に差上げていますので、二階展示ケース上からお持ち下さい。このケース内には目録掲載の著作の中からいくつかを選んで展示しています。

(参考室)

資料紹介 (1)

『国文学研究書目解題』市古貞次編

東京大学出版会 1982年刊

明治以降、昭和55年迄に刊行された国文学研究書を対象として、約2400点を選び、内容を解題したものである。

ここで言う研究書には、文学芸術一般 国語学・国史学・民俗学・宗教学・演劇学その他の隣接諸学が含まれている。構成は、全体を国文学一般・上代・中古・中世・近世・近代の各セクションに分ち、それぞれの中では、一般、その他、詩歌・散文・劇文学などのジャンルに分ち、おおよそ一般的なものから個別的なものへ、文学史的に古いものから新しいものへという基準で配列している。解題本文の後には書誌記述と共に執筆者名が明記され、巻末の書名索引は見出しを立てた研究書ばかりでなく、関連して解題されたものも検索し得るように工夫されている。

(清水裕子)

新4年生へ... 卒論のテーマがおおよそ決まったら、利用証を持って2階出納台で特別貸出しの手続きをして下さい。

運用課の顔

~~~~カウンター・往来~~~~

☆はじめまして...

梅本 恵美

はじめまして、4月より大学図書館運用課に配属になりました梅本恵美です。3月に東京学芸大学を卒業したばかりの社会人一年生です。司書としてはまだまだ未熟なため、まずは1日と早く円滑な貸出し業務ができるようにと、只今奮闘中です。

“親切に！ ルーズな人には厳しく！”という運用課のモットーに、さわやかな笑顔を添えて、皆さんのお手伝いをしたいと思っています。どうぞよろしく。

〇〇〇〇〇〇

ヘアスタイルで

迫ります...

清水 裕子

今年の2階カウンターは、去年とは違って変わって、“花の”(！?)独身女性トリオが並ぶことになりました。その中で、とにかくヘアスタイルを

見て下さればわかるのが私です。

何年か前までは、私も学習院の学生として図書館を利用していましたので、皆さんの立場に立って毎日の仕事をしていきたいと思っておりま  
す。はじめのうちはいろいろと慣れない点もあるかと思いますが、皆さんが最も自分の要求にあった資料を最大限に活用できるように精一杯お手伝いしますので、どうぞよろしくお願い致します。

さらば、カウンターよ!

ヒゲの 眞下 勇

運命の日、それは昼下りのことでした。さりげなく微笑みをとって、私の耳元にやってきました。その日以来、心の準備の戦いが始まったのです。この私が！整理課へ、しかもよりによってあのABCのオニが往むと言う洋書係へ行く。悟りとも諦めともつかず、心の動搖と能力の限界を小さなポケットの中にそっとしまっ  
て、あのカウンターを去るのです。そこは私の原点、故郷、そこから全てが始まり、またそこへ回帰す

る処。ここは旅の途中なのか、終点  
なのか、誰れも知らない。でも、貧  
しい経験と、わずかばかりの知恵と、  
まぶしいばかりの思い出とを持って  
行こう、新たなる出会いを求めて！  
乾杯！！さらば、カウンターよ！

◇◇◇◇◇

## ◇◇◇ 最前線を振り返る

中村 大夫

閲覧係を担当してからとうとう6年の  
歳月が流れ、その間様々な学生がカ  
ウンターの前に現われては旅立って  
いった。1階の開架室と2階のカウ  
ンターをそれぞれやってみて、その  
性質、学生の雰囲気と違い、なか  
なかおもしろい。1階の学生は身近  
かに感じ、なんとなく学生も気安く利  
用し、2階はちょっと固く、学生と  
の間に一線が設けられているよう  
であった。その理由は様々あるが、1  
階は学生群の中に職員が、2階は職  
員に対して学生がいるという点が一  
番大きい。しかし2階カウンターも  
今年四月からは、独身の女性が三人、  
懇切丁寧に貸出・閲覧をしてくれる

はずだから、前述のような傾向は消  
えてしまうかもしれない。この閲覧  
スタッフは以前に較べ数役充実した  
人達なので何でも質問してほしい。

これから数年の学生生活に欠かせ  
ない図書館、大いに活用して勉学に  
役立ててもらいたい。



## 資料紹介(2)

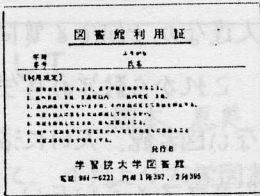
『年刊人物情報事典 1981』

日外アソシエーツ 1981年刊 2冊

昭和55年中に発行された新聞13紙  
週刊誌14誌、月刊誌13誌計40種に取  
上げられた内外の人物を人物のプロ  
フィール、記事情報(追悼記事を含む)  
について記述する。収録人名は約  
12000人で、排列は五十音順。一部  
の人物については新聞社から提供を  
受けた写真を挿入しているだけでな  
く、記事情報の項に顔写真の有無を  
明記しているのが特徴的である。今  
年創刊の実用性の高い図書。(久保暎子)

## 開架図書室から お願い

開架図書室に入るときには、利用証または学生証を提出することになっていますが、逆に退室する際には必ず自分の利用証(または学生証)であることを確認して持ち帰るようにして下さい。最近、誤って他人の利用証を持ち帰ってしまうというトラブルが増えています。気付いたらすぐ連絡して下さい。



この時期は春休み中の長期貸出しの返却期でもあり、カウンターが非常に混雑します。御了承下さい。

(北村 誠)

## 資料紹介 (3)

『年刊人物文献目録 '80』 森睦彦編 日外アソシエーツ 1981年刊

昭和55年中に刊行された図書雑誌から集めた人物文献(伝記・日記・回想・紀行・作家論・年譜・著作リスト・書誌など)の目録。収録人物の見出し数は約10,500人。文献数は

約21,000件。直接に図書・雑誌から採録したほか『日本全国書誌週刊版』(国立国会図書館),『雑誌記事索引 人文・社会編 / 科学技術編』(同),『雑誌記事索引 経済・産業編』(経済文献研究会),『文献ジャーナル』(富士短期大学)からも採録している。排列は人名の五十音順。80年版が創刊。『日本人物文献目録』(法政大学史学研究室編)および『人物書誌索引』(深井人詩編)に続く新しい情報を得ることができる。

(久保田安子)



## \* \* \* \* \* 蔵書冊数 ('82.3.31 現在)

|           |         |
|-----------|---------|
| 法 学 部     | 81,114  |
| 経 済 学 部   | 75,852  |
| 文 学 部     | 159,589 |
| 理 学 部     | 39,316  |
| 図 書 館 (等) | 235,698 |
| その他 研究所   | 10,177  |
| -----     | -----   |
| 総 計       | 601,746 |

## --- 司書の報酬 ---

司書の資格をとりたいのですが、と相談に来る女子学生がよく訪ねてくる。自分と同じ職業につきたいと考えてくれる若い人たちがいるという事は悪い気がしないでもない。図書館司書は女性の職業としても、本気でやるなら可成りよい仕事だとは思いますが、私の答えはいつもきまっています。資格は少し努力すればとれるが、就職はとてとむずかしいですよ。と初めからやる気をそぐような言葉になってしまう。それは司書養成があまりにも容易に考えられていて、比較的簡単に資格がとれる為に、有資格者があまりにも多くなり過ぎてしまったことと、日本ではあまりにも図書館の数が少ないためである。特に女性の司書が多い。

簡単に資格をとることは可能だがそれは「司書となる資格」なのであって、本当の司書になろうとすると、これは大変な努力がいる。ところが「本当の司書などと言う資格がある

わけではないから、それを目指すことは、全く個人的な何れとつむくわれることのない努力にしか過ぎない。だから司書らしくない司書も、残念ながら存在することになる。

まじめな堅い職業だと受けとってくれるだけで、社会的な評価は低いので、こうした努力を重ねることは自己満足だと言われても仕方のない面もある。

現状だけから言えば、その努力にむくいてくれるだけの収入と社会的地位を気にする人は、はじめから図書館司書などにはならない方がよい。

司書の報酬は「有難う」という言葉だけである。その言葉さえ直接には聞こえてこない事の方がずっと多い。それでよいのかも知れない。

(佐野 眞)

教員著作 受贈図書目録

(1982.3-4) -受贈順-

金日成主席誕生70周年記念研究論文  
集 宮島尚史他著 フユエ思想  
国際研究所 1982.

ブレヒト—戯曲作品とその遺産—  
岩淵達治著 紀伊国屋書店 1982  
(人と思想)

デイリーコンソイス独和辞典 早川  
東三編 三省堂 1982

「東京」の社会学 加藤秀俊著 PH  
P研究所 1982.

レオナルドダヴィンチ解剖手稿別冊 裾  
分一弘他著 岩波書店 1982

恋のお守り メア著 橋本慎矩訳  
旺文社 1981 (旺文社文庫)

化学結合を考える—原子から分子へ—  
飯島孝史 小谷正博著 講談社  
1981

エントロピーと化学平衡 Wyatt著  
小谷正博訳 丸善 1981

文学的ニーチェ像—ニーチェと詩人  
たち— 秋山英丈著 勁草書房  
1979 (2刷)

ミルケゴールとニーチェ 秋山英丈  
著 理想社 1978

今はなめらかに肌いで—あるニーチェ  
頌— 秋山英丈著 朝日出版社  
1982

行為としての読書 イ—ザ—著  
巒田収訳 岩波書店 1982 (岩  
波現代選書 68)

閉館時間

平日 8:50 ~ 18:30 (休講日は16:30)

土曜日 8:50 ~ 16:30 (休講日は12:00)

(館外貸出しの受付は閉館時刻の30分前まで)

1982年4月16日発行  
東京都豊島区日野一丁目五番  
学習院大学図書館  
運用課